

2019年12月27日

文責 根来 文栄

2019年12月定例自然観察会実施報告書

1. 実施日：2019年12月14日（土）9:45～14:25
2. テーマ：六甲山の南尾根から港町を眺める
3. コース：六甲ケーブル下駅～油コブシ～寒天山道～渦森展望台公園
4. 参加者：ビジター27名、会員27名（内3班18名） 合計54名
＜自主研修会12月7日の参加会員数は、35名＞
5. 配付資料：観察会ルートマップ・植生リスト
6. 説明リーダー：田中、藤原、熊木、中山、中島（会員説明は久保）
7. 概要と感想

冬の観察会としては昼食時に風が吹き陽がかげるという事もあったが、晴れ間も多く概ね天候に恵まれた観察会でした。ただ、コースの後半下りがきついことから、事前に予定し参加者に説明していたとおり、足に不安を覚えるビジターの方達5名が寒天山道の分岐で別れ、六甲ケーブル山上駅へ引率者とともに向かう事となった。

9:30 六甲ケーブル下駅バス停付近広場（駅員に了解を取った）に全員がそろい、班分けの後、順次観察開始地点（老人ホーム「きしろ」付近）に向かい出発。

開始地点までは交通量も多いと考えられたので、植物の説明抜きの予定であったが、参加者の意識・好奇心も高く、車に注意しながら、歩きつつ質問に答えるという状況であった。開始地点で他班が説明している間を利用して、これから向かう「油こぶし」と「寒天山道」の云われを解説。そして他班の後を受け、クスノキ、アオツヅラフジ（乾燥させたアンモナイトに似た形の種を披露）、ツルウメモドキ、アケビ、キウイを観察し、その特徴について説明。山道に入ってからはずぐに兵庫県花であるノジギクが迎えてくれた。カラスザンショウ、ヤツデ、ヤマコウバシ、サネカズラ、オオバヤシャブシを観察し、ガマズミの実を試食しながら先へ進むと、赤い実を付けたメロンのような木肌のマユミがあり、白い木肌のモチツツジ、サクラ肌のリンボク、イヤリング状の実を付けたコマユミ、頂芽がやや湾曲し2枚の葉が向き合った形のムラサキシキブの冬芽が見られた。ノリウツギ、ナガバモミジイチゴ、イヌツゲ、ムベ、ヤブムラサキ、ヒイラギナンテンとその特徴を観察し、ウワミズザクラ（上溝桜）が大嘗祭で亀甲占いの際用いられることを資料で説明。シラカシとアラカシは実のなる時期の違いで判別でき、実や葉の特徴についても説明。さらに登ってゆくと、リンボクのブラシ状の実、コセンダングサ、ニセアカシア、ナワシログミ、タツナミソウ、ホソバタブ、スダジイ、クサギ、オオバヤシャブシ、ガマズミ、ニセアカシア、ネズミモチ、ケヤキ、ヒヨドリジョウゴ、アカメガシワ、ヌルデ、ヤブタバコ、シキミ、サネカズラと続きビナンカズラのところ

で、赤い実の中の種について見本を示しながら何の形に見えるか質問。(A：腎臓の形) 果実を漢方薬の五味子(チョウセンゴミン)の代わりに使うこともあり、美男葛と呼ばれるのは昔つるから粘液を取って整髪料に使ったためともいわれると説明。

ヤブツバキ、ハリエンジュ、ヒヨドリバナ、ヤブコウジモチツツジ、ヤブニッケイ、カニクサと続き、アラカシの冬芽や葉の特徴を観察し、マテバシイの実はクッキーにするとおいしいこと、イスノキ(結寿の木(ユスノキ=目出度い木)(ヒョンノキ))は街路樹でよく使われており、虫こぶが出来ているが、これは笛になる(実演)。材は木刀としても使われると説明。

昼食後、油こぶしの頂上で三角点(625.5m)について、起点「日本経緯度原点」は東京都港区麻布台にあり、1等三角点(45km間隔):972点、2等三角点(8km間隔):5,056点、3等三角点(4km間隔):32,699点、4等三角点(2km間隔):64,557点 合計:103,284点

三角点の約半数は明治大正時代に設置されており一等三角点の約4割は標高500m以下の低地に設置されていると説明。

そのあと観察を開始、タムシバの冬芽、アオキの実、アセビの花、クロモジの冬芽、エゴノキ、ケヤキ、カナクギの木と観察、モミジとカエデの違いを解説(モミジは秋に草木が黄色や赤色に代わることを意味する動詞「もみず」に由来し、それが名詞化して「もみじ」になり、それから転じて、特に目立って色を変えるカエデの仲間を「モミジ」と呼ぶようになった。カエデは、葉の形がカエルの手に似ているので、「かえるで」、後に「カエデ」と呼ばれるようになった)。シロダモの赤い実と花、ヤマボウシ、ノササゲ、スズメウリ、マユミ、ヤブコウジ、ゴンズイ、三大美芽(ザイフリボク、コクサギ、ネジキ)の一つネジキの芽、イタビカズラ、ネズミモチに似た実を付けたイボタノキ、スイカズラ、サルトリイバラ、ホツツジを見て最終目的地の渦森展望台公園に到着。

公園にてキジョランの葉にアサギマダラの幼虫(このまま越冬)がいるのを観察、食草の一つであるフジバカマは冬季の為、刈り取られているのを確認後、展望台から大阪湾を眺望し14:30に解散。

なお、ビジターさんから、「山歩きが主になっているので観察に重点を置いたコース選びをお願いしたい。」との貴重なご意見も頂戴した。



尾根から港を望む



渦森台から大阪方面を望む